



2019年度第2四半期 決算説明資料

2019年10月31日
三菱重工業株式会社

CFOの小口です。2019年度第2四半期決算の概要について説明します。

**I . 2019年度第2四半期
決算実績**

・ハイライト	3
・連結経営成績サマリー	4
・定常収益	5
・セグメント別内訳	6
・連結財政状態	7
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	8

セグメント情報

・受注高・受注残高	9
・売上収益	10
・事業利益	11

II . 2019年度業績見通し

・業績見通しサマリー	13
・定常収益	14
・セグメント別内訳	15

III . 補足資料

16-20

当社は2019年度から国際会計基準(IFRS16号)を適用しています。
 有価証券報告書及び決算短信については、IFRS16号の遡及適用により2018年度
 の財務数値を修正表示しているため、本資料とは一部数値が異なります。
 (本資料では過去の数値との比較を容易にするため、2018年度数値の見直しは
 行っておりません。)

I . 2019年度第2四半期決算実績

- 米中貿易摩擦による中国経済の減速、英国のEU離脱問題の動向など、景気下振れのリスクに留意が必要。今年度業績に与える影響は限定的だが、先行きの市況や金融情勢については注視して対応していく。
- 受注高、売上収益、事業利益とも、概ね通期見通しに沿って進捗。
→ P4(連結経営成績サマリー)、P6(セグメント別内訳)
- 受注高は、パワードメイン(火力)が前年同期に比べて大幅に増加。
- パワードメインの事業利益は、火力は堅調に推移したものの、原子力の売上収益が下期集中のため、パワードメイン全体では前年同期を下回った。通期見通しに変更はなし。
→ P9~11(セグメント情報)
- フリーキャッシュフローについては、投資の増加及び営業債務、契約負債の減少により、前年同期を下回るが、通期見通しに変更はなし。
→ P8(主要財務指標/キャッシュ・フロー)
- 中間配当は前年度比10円増配の75円。
(年間では前年度比20円増配の150円の予定)
→ P13(業績見通しサマリー)

今回の決算のハイライトは記載のとおりです。

第2四半期決算実績 連結経営成績サマリー



(単位: 億円)

	2018年度2Q累計 (利益率)		2019年度2Q累計 (利益率)		増減 (増減率)	
受注高	15,618		16,982		+1,363	(+8.7%)
売上収益	18,720		18,776		+55	(+0.3%)
事業利益	(3.0%)	567	(4.0%)	743	+175	(+31.0%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	(1.4%)	254	(1.6%)	292	+37	(+14.7%)
EBITDA	(6.4%)	1,201	(7.5%)	1,412	+211	(+17.6%)
フリーCF	△750		△2,113		△1,362	-

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

4

受注高は、パワードメインが堅調だったことにより、前年同期を1,363億円上回る1兆6,982億円となりました。売上収益は1兆8,776億円と概ね前年同期並みでしたが、事業利益(743億円)、親会社の所有者に帰属する四半期利益(292億円)、EBITDA(1,412億円)はいずれも前年同期を上回りました。フリーキャッシュフローについては、投資の増加及び営業債務、契約負債の減少により、前年同期に対して1,362億円マイナスの▲2,113億円となりました。

第2四半期決算実績 定常収益



(単位: 億円)

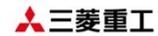
2019年度2Q累計	定常収益 (利益率)	SpaceJet(MRJ) 投資	合計 (利益率)
受注高	16,982	-	16,982
売上収益	18,776	-	18,776
事業利益	(4.7%) 882	△138	(4.0%) 743
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	(2.3%) 428	△135	(1.6%) 292
EBITDA	(8.2%) 1,546	△134	(7.5%) 1,412
フリーCF	△1,498	△614	△2,113

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

5

SpaceJet(MRJ)投資の影響を除いた定常収益については記載のとおりです。

第2四半期決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳



(単位: 億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'18年度 2Q累計	'19年度 2Q累計	増減	'18年度 2Q累計	'19年度 2Q累計	増減	'18年度 2Q累計	'19年度 2Q累計	増減
パワー	4,255	6,654	+2,398	6,808	7,079	+270	473	372	△ 100
インダストリー& 社会基盤	9,258	8,651	△ 607	8,982	8,746	△ 235	303	293	△ 9
航空・防衛・宇宙	2,255	1,923	△ 332	3,074	3,105	+30	△ 221	126	+347
その他	356	341	△ 15	343	336	△ 6	29	78	+48
消去または共通	△ 508	△ 588	△ 80	△ 488	△ 491	△ 3	△ 18	△ 127	△ 109
合計	15,618	16,982	+1,363	18,720	18,776	+55	567	743	+175

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

6

受注高については、パワーは前年同期比2,398億円増加の6,654億円、インダストリー&社会基盤は中量製品の伸びが鈍化している影響もあり607億円減少の8,651億円となりました。航空・防衛・宇宙については下期に防衛の大型案件が集中していることから332億円減少の1,923億円となりましたが、民間航空機の受注は堅調に推移しています。

売上収益については、パワーは火力が増加した一方、原子力が減少しています。インダストリー&社会基盤は、受注と同様に中量製品を中心に減少しています。航空・防衛・宇宙は概ね前年並みとなりました。

事業利益については、パワーは前年同期に対し100億円の減益となりましたが、これは原子力の売上が下期に集中していることによるものであり、通期見通しの達成は可能と考えています。インダストリー&社会基盤は事業によって増減はありますが、ドメイン全体では前年同期並みで推移しています。航空・防衛・宇宙は、SpaceJet(MRJ)投資の損失計上額が138億円に留まったことなどから(通期の損失計上額は800億円の予定)、前年同期対比で347億円増加しました。

第2四半期決算実績 連結財政状態



(単位: 億円)

	'18年度末	'19年度2Q末	対前年度末 増減	
売上債権(営業債権、契約資産)	13,431	12,269	△1,161	
棚卸資産	7,392	8,045	+652	
その他流動資産	※10,769	※10,374	△394	※ 南アフリカプロジェクトに係る資産を含む {'18年度末 : 5,460億円 '19年度2Q末 : 5,473億円}
固定資産	10,137	10,759	+621	
投資等	9,696	10,425	+728	
資産合計	51,427	51,874	+446	
営業債務	8,621	7,645	△975	
契約負債	8,752	8,315	△437	
その他	9,913	9,922	+8	
有利子負債	6,651	8,824	+2,173	借入金 △127 コマーシャルペーパー +2,450 社債 △150
資本	17,488	17,166	△321	配当 △218 四半期利益 +292 その他の包括利益 △263 他 (その他有価証券評価差額金等)
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(14,308)	(13,971)	(△337)	
負債・資本合計	51,427	51,874	+446	

('19年度2Q末の資産、負債にはIFRS16号の影響(+976億円)を含む)

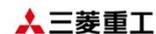
© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

7

バランスシートについては、前年度末から446億円増加しましたが、IFRS16号の適用によるリース資産のオンバランス化の影響で約1,000億円増加しているため、この影響を除くと実際は減少していることとなります。通常、第2四半期末時点では棚卸資産を中心に総資産額が増加する傾向にあることを踏まえると、財務の健全化、キャッシュフロー重視の経営の成果が着実に現れているものと評価しています。

有利子負債は一時的に増加していますが、今年度末には削減できる見込みのため、主に、短期返済が可能なコマーシャルペーパーで調達しています。

第2四半期決算実績 主要財務指標／キャッシュ・フロー



主要財務指標

	‘18年度末	‘19年度 2Q末	対前年度末 増減	‘19年度 見通し
自己資本比率	27.8%	26.9%	△ 0.9pt	-
有利子負債残高 (単位:億円)	6,651	8,824	+2,173	6,000
D/Eレシオ	0.38	0.51	+0.13	0.3

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

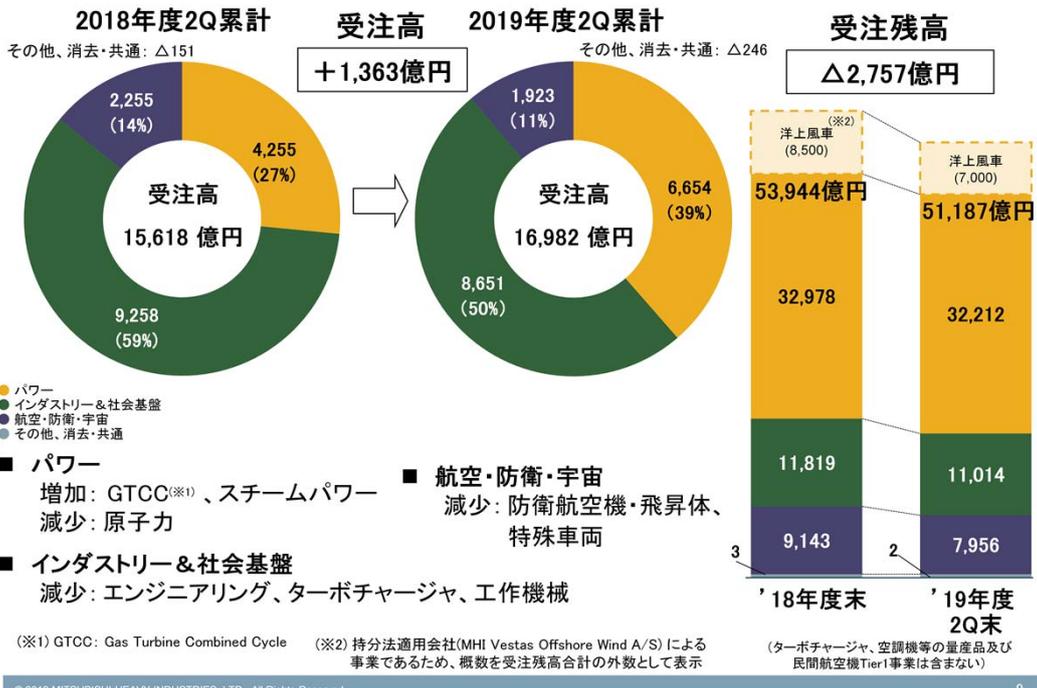
	‘18年度 2Q累計	‘19年度 2Q累計	増減	‘19年度 見通し
営業CF	△ 42	△ 911	△ 868	-
投資CF	△ 707	△ 1,201	△ 494	-
フリーCF	△ 750	△ 2,113	△ 1,362	500

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

8

自己資本比率は昨年度MRJ関連資産の減損を実施した影響もあり26.9%となっていますが、現在のレベルでも財務健全性は十分保たれていると認識しています。有利子負債、D/Eレシオは概ね計画通りです。キャッシュフローについてはM&A等により、投資キャッシュフローが増加しています。

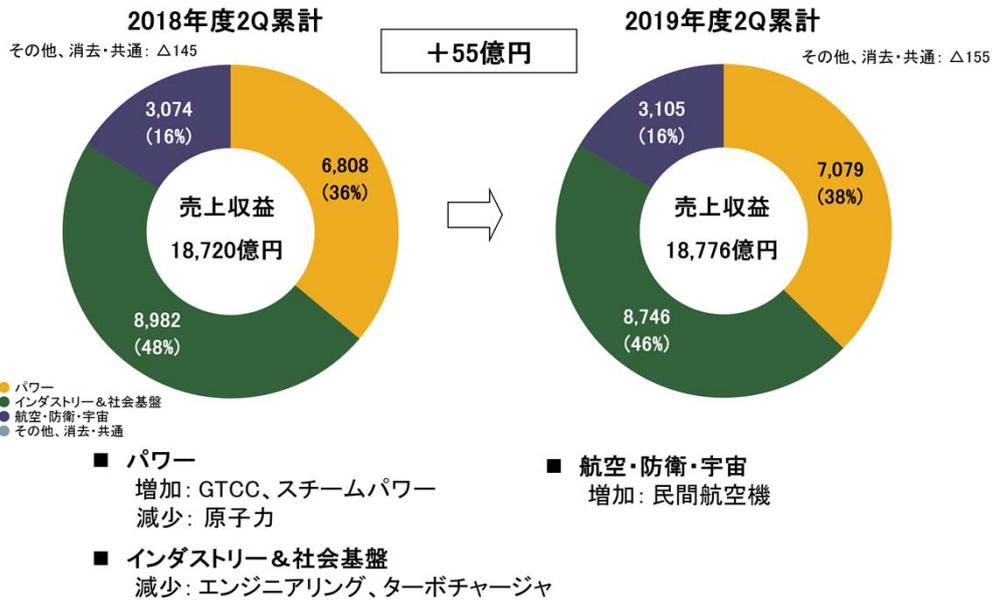
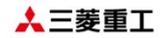
第2四半期決算実績 セグメント別 <受注高・受注残高>



各セグメントの受注高・受注残高は記載のとおりです。

パワーの受注残高はここ最近減少が続いていましたが、ガスタービンの受注が堅調なことからその傾向に歯止めがかかったと評価しています。

第2四半期決算実績 セグメント別 <売上収益>

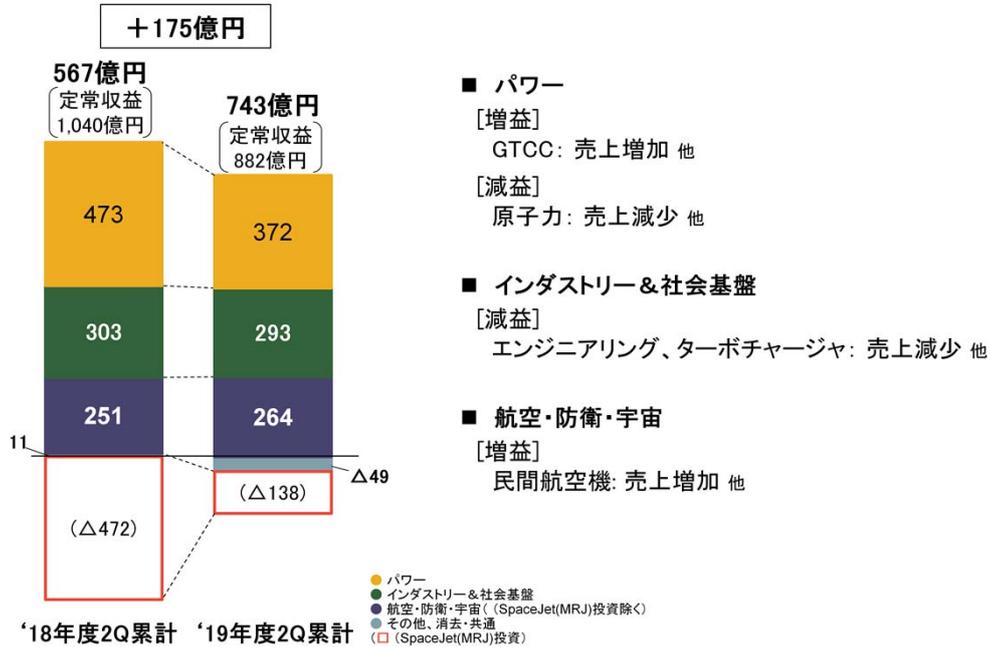
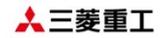


© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

10

売上収益については、記載のとおりです。

第2四半期決算実績 セグメント別 <事業利益>



© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

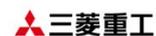
11

事業利益については、パワーにおいて100億円悪化していますが、これは原子力の売上が下期に集中している影響です。航空・防衛・宇宙はSpaceJet(MRJ)投資の損失計上は上期は限定的だったことにより、対前年同期では改善しています。

Ⅱ. 2019年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
従いまして、この業績見通しのみによって投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。
実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。
実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2019年度業績見通し サマリー



(単位:億円)

	2018年度実績 (利益率)	2019年度見通し (利益率)	対前年度増減 (増減率)	
受注高	38,534	43,000	+4,465	(+11.6%)
売上収益	40,783	43,000	+2,216	(+5.4%)
事業利益	(4.6%) 1,867	(5.1%) 2,200	+332	(+17.8%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(2.5%) 1,013	(2.6%) 1,100	+86	(+8.5%)
R O E	7.2%	8%	-	
EBITDA	(7.6%) 3,116	(8.1%) 3,500	+383	(+12.3%)
フリーCF	2,430	500	△1,930	-
配当	130円 (中間65円/期末65円)	150円 (中間75円/期末75円)	【未確定外貨】 15億ドル 4億ユーロ	

前回公表値(2019年5月9日)より変更なし

【前提為替レート】
1ドル = 110円
1ユーロ = 120円(※)

(※)2019年度第1四半期末時点では1ユーロ=125円

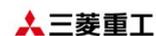
© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.

13

業績及びキャッシュフローが概ね計画通りに推移していることや財務の健全性が維持されていることを踏まえ、年間の業績見通しを据え置きました。

以上で2019年度第2四半期決算の説明を終わります。

2019年度業績見通し 定常収益



(単位: 億円)

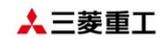
2019年度見通し	定常収益 (利益率)	SpaceJet(MRJ) 投資	合計 (利益率)
受注高	43,000	-	43,000
売上収益	43,000	-	43,000
事業利益	(7.0%) 3,000	△800	(5.1%) 2,200
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(4.4%) 1,900	△800	(2.6%) 1,100
ROE	8%	-	8%
EBITDA	(10.0%) 4,300	△800	(8.1%) 3,500
フリーCF	1,500	△1,000	500

- 定常収益におけるTOP^(※1)比… 0.8 : 1 : 0.6
(売上…4.3兆円、総資産…5.2兆円、時価総額…3.2兆円^(※2))

(※1) TOP: Triple One Proportion(売上:総資産:時価総額=1:1:1とする経営目標)

(※2) 時価総額は親会社の所有者に帰属する当期利益の16.7倍(資本コスト:6%)として算定

2019年度業績見通し セグメント別内訳

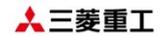


(単位:億円)

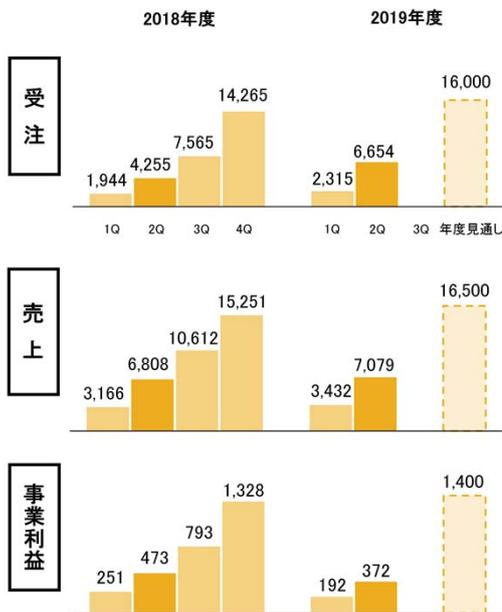
	受注高			売上収益			事業利益		
	'18年度 実績	'19年度 見通し	対前年度 増減	'18年度 実績	'19年度 見通し	対前年度 増減	'18年度 実績	'19年度 見通し	対前年度 増減
パワー	14,265	16,000	+1,734	15,251	16,500	+1,248	1,328	1,400	+71
インダストリー& 社会基盤	18,520	20,000	+1,479	19,078	19,500	+421	701	1,100	+398
航空・防衛・宇宙	6,106	7,000	+893	6,775	7,000	+224	△ 374	△ 200	+174
その他	733	1,000	+266	716	700	△ 16	359	50	△ 309
消去または共通	△ 1,091	△ 1,000	+91	△ 1,038	△ 700	+338	△ 148	△ 150	△ 1
合計	38,534	43,000	+4,465	40,783	43,000	+2,216	1,867	2,200	+332

Ⅲ . 補足資料

補足資料① 第2四半期決算実績 <パワー>



(億円、各期の数値は累計)



受注：対前年同期+2,398億円の増加

増加…GTCC、スチームパワー
減少…原子力

【ガスタービン受注台数】

2018年度2Q累計：4台

	米州	アジア	EMEA(※1)	その他	合計
大型	-	-	-	-	0
中小型	2	2	-	-	4
合計	2	2	0	0	4

2019年度2Q累計：9台

	米州	アジア	EMEA(※1)	その他	合計
大型	3	1	2(※2)	-	6
中小型	3	-	-	-	3
合計	6	1	2	0	9

【ガスタービン契約残台数】

(※1) 欧州、中東、アフリカ

	大型	中小型	合計
2018年度2Q末	35	6	41
2018年度末	44	15	59
2019年度2Q末	37	11	48

(※2) 本第2四半期から、H100形ガスタービンの区分を中小型から大型に変更

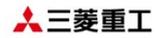
売上：対前年同期+270億円の増収

増加…GTCC、スチームパワー
減少…原子力

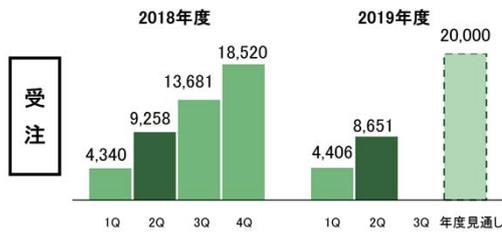
損益：対前年同期△100億円の減益

増益…GTCC:売上増加 他
減益…原子力:売上減少 他

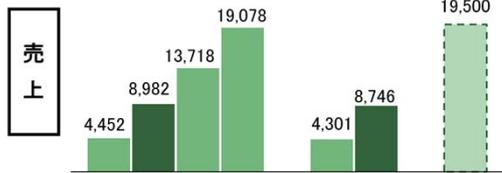
補足資料① 第2四半期決算実績 <インダストリー & 社会基盤>



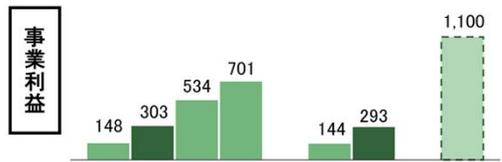
(億円、各期の数値は累計)



受注 : 対前年同期△607億円の減少
減少…エンジニアリング、ターボチャージャ、工作機械

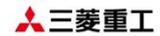


売上 : 対前年同期△235億円の減収
減少…エンジニアリング、ターボチャージャ

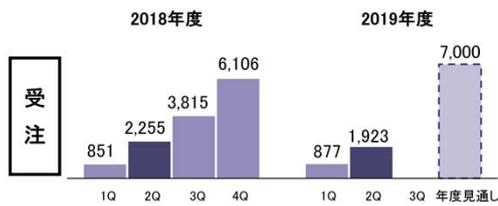


損益 : 対前年同期△9億円の減益
減益…エンジニアリング、ターボチャージャ、売上減少 他

補足資料① 第2四半期決算実績 <航空・防衛・宇宙>

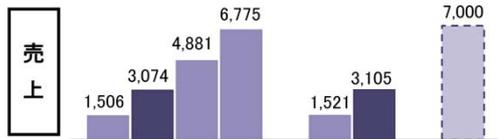


(億円、各期の数値は累計)



受注：対前年同期△332億円の減少
減少…防衛航空機・飛昇体、特殊車両

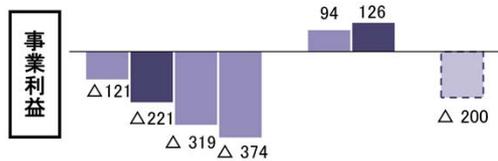
【SpaceJet(MRJ) 累計受注機数】(2019年10月31日現在)
287機 (確定 163機、オプションおよび購入権 124機)



売上：対前年同期+30億円の増収
増加…民間航空機

【B777/B777X 引渡機数】
'18年度(実績) : 48機 (1Q:11機、2Q:11機、3Q:11機、4Q:15機)
'19年度(見通し) : 55機 (1Q:16機、2Q:14機、3Q~4Q:計25機[予定])

【B787 引渡機数】
'18年度(実績) : 148機 (1Q:37機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:42機)
'19年度(見通し) : 167機 (1Q:43機、2Q:42機、3Q~4Q:82機[予定])



損益：対前年同期+347億円の増益
増益…民間航空機：売上増加 他

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位:億円)

	'18年度 2Q累計	'19年度 2Q累計	'19年度 見通し
研究開発費	627	555	1,600
減価償却費	633	668	1,300
設備投資	539	697	1,700

2. 販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	'18年度 2Q累計	'19年度 2Q累計
販管費	2,614	2,711

3. 為替レート(売上計上平均レート)

	'18年度 2Q累計	'19年度 2Q累計
USドル(円/USドル)	109.6	109.3
ユーロ(円/ユーロ)	129.3	122.1

4. 海外地域別売上収益

(単位:億円)

	'18年度2Q累計		'19年度2Q累計	
アジア	3,461	(19%)	3,453	(19%)
北米	3,085	(16%)	3,537	(19%)
欧州	2,046	(11%)	1,750	(9%)
中南米	676	(4%)	685	(4%)
中東	616	(3%)	457	(2%)
オセアニア	113	(1%)	90	(0%)
アフリカ	406	(2%)	343	(2%)
合計	10,406	(56%)	10,318	(55%)

※ ()内は構成比

MOVE THE WORLD FORWARD

**mitsubishi
heavy
industries
group**

© 2019 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD. All Rights Reserved.